記入する前にコピーしてお使いください。　　　　　　　　　　　　　　　（シート３様式　表）



　　　　　シート３：現在の様子

（　　）歳の様子（令和　　年　　月　　日現在）

記入者：　　　　　　　　（続柄　　　）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ふりがな |  | 愛称（呼び名） |  | 生年月日 | 平成・令和　　年　　月　　日 |
| 本人の名前 |  |

●好きなこと、得意なこと、苦手なこと

|  |  |
| --- | --- |
| 特に好きな遊び、スポーツ、趣味 |  |
| 得意なこと、得意なお手伝い、作業等 |  |
| 本人が喜ぶほめ方・コミュニケーション方法 |  |
| 嫌いなことや苦手なこと |  |
| できたらいいなと思う目標 |  | できたこと（一部でもできたら書きましょう） |

●医療、衣食住などにおいて配慮が必要なこと

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ①医療に関すること | 無・有 | 肢体・聴覚・視覚・発達・知的・病気など　内容 | 手帳所持の場合（種類と等級）身体　（　　 　）級療育　（ A ・ B ）　精神　（　　　 ）級 |
|  | 定期通院 |
| くすり | 無・有 | くすり名（　　　　　　　　　）飲ませ方の工夫（　 　　　　　　 　　）お薬の説明書も一緒にとじ込んでおくと便利です |
| ②アレルギー | 無・有 | 食物・薬物・その他　内容 | 緊急時の対応方法 |
| ③感覚の感じ方 | 配慮不要　　要 | 苦手な感覚、又は、気づきにくい感覚　 大きな音・肌触り・手の汚れ・におい・怖く感じるもの・光・温度・偏食　 痛み・ぶつかっても気づきにくい・その他（　　　　　　　　　　　　 　　　） |
| ④安全面（社会参加を妨げる行動） | 配慮不要　　要 | 危険回避や事故予防（内容　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　 　　　　 　　　　） |
| ⑤制限が必要な行動 | 配慮不要　　要 | 活動制限（内容　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　 　　）食事制限（内容　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　 　　　　 　） |
| ⑥日常生活動作 | 配慮不要　　要 | 食事・衣類や着替え・排泄・入浴・移動・作業　内容 |
| ⑦心理的な安定（空間、居場所） | 配慮不要　　要 |  |
| ⑧学習と休憩時間の過ごし方 | 配慮不要　　要 | 配慮や工夫していること |
| ⑨その他、配慮してほしいこと |  |

（シート３様式　裏）

●コミュニケーションの取り方

|  |  |
| --- | --- |
| 声がけする時の配慮（こちらから指示する時、本人の答えを聞きたい時）配慮を要する項目の番号に○を記入（いくつでも） | 特になし　　　必要　 1.声の大きさに注意してほしい　 　　2.なるべく単語、または２語文で話してほしい　 3.絵や写真、文字で示してほしい　　 4.予告をしてほしい　 5.選択肢を準備してほしい　 6.「ダメ」だけでなく、してほしい行動を具体的に言ってほしい　 7.指示内容などが記載されたものを渡してほしい 8.短い言葉で言ってほしい9.その他 |
| 本人の答え方の特徴該当する項目の番号に○を記入（いくつでも） | 特になし　　　あり　 1.はい、いいえが言葉で言えない　　　　　　 2.要求を言葉で言えない　 3.困ったことを言葉で言えない　　　　　　　 4.答えるまでに時間がかかる　 5.目（視線）を合わせられない　　　　　　　 6.返答に困ると沈黙してしまう　 7.不安になると話し続ける　　　　　　　　　 8.相手のことを気遣えず話し続けてしまう　 9.カード・サイン（身振り）を使用する　10.その他 |

●本人が困っている時の様子やその対応　「こうすれば大丈夫です」

　※シート４：支援の工夫など、つなげたい情報　のシートを使っても便利です。

|  |  |
| --- | --- |
| 困ったり不快に感じる場面（苦手なこと）該当する項目の番号に○を記入（いくつでも） | 　1.急な予定の変更のとき　2.うるさいとき（声が高いとき、大きな声、早口、その他　　　　　　　　　　　　　　　　）　3.急に話しかけられたとき　　　　　　　　　　4.痛みや不快があるとき　5.返答に困る質問をされたとき　　　　　　　　6.自由な時間など、今すべきことがわからないとき　7.人と意見が違う時、対立するとき　8.その他 |
| 困ったり不快に感じる場合にとりやすい行動該当する項目の番号に○を記入（いくつでも） | 　1.動けなくなる　　　　　　　　　　　　　　 2.黙ってしまう　3.大きな声をあげる（ひとりごとを言う）　　 4.一方的に話す　5.走りまわる　　　　　　　　　　　　　　　 6.テンションが（上がる・下がる）　7.こだわりが強くなる　　　　　　　　　　　 8.ニヤニヤする　9.耳をふさぐ　　　　　　　　　　　　　　　10.無気力になる11.自傷・他傷　　　　　　　 　　　　 　　 12.ひきこもる（tel・メールに反応しなくなる）13.その他 |
| 困ったり不快に感じる場合の対応の仕方該当する項目の番号に○を記入（いくつでも） | 1.静かな刺激の少ない所に移る　　　　　　　 2.見守ってくれる人が寄り添う　3.落ち着いてから、穏やかな声でゆっくり話す4.次の行動について、具体的な指示をする5.身体の不調（気温の影響、空腹、疲労、痛みなど）があれば、休ませたり受診を勧める6.気持ちを代弁してあげる　7.その他 |

●伝えておきたいこと　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　 見ていただいた方のサイン

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 継続してほしい支援、保護者の思いなど |  |  |  |  |